

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2016年(平成28年)5月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第88号

特定非営利活動法人(NPO法人)
21世紀のカンボジアを支援する会
 (AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY
 【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
 TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
 E-mail:info@aac21.net
 【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao,Khan Por Senchy
 Khan Por Senchy,(Borey Newtown) Phnom Penh
 (855) 78-784-808 (855) 17-599-707
 【ホームページ】 AAC21
 【公式ブログ】 メコンの風に吹かれて
 【Facebook】 https://www.facebook.com/aac21.net

式には、贈呈者(織田睦子さん、故人)が勤務していた会社の部下である土橋傑さん(神戸市中央区)が出席、そのほか、ふれあいの旅の参加者や、滞在中の國學院大學国際協力サークル「優志」ら16人が出席した。

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

ソリヤ小学校には校舎がなかった。村の集会所を借り、近隣の小学校から派遣された1人の先生が午前中のみ教えていた。新校舎になり、先生の数も増えるので、未就学児童を含む生徒も増える予定。

織田睦子さんの遺志がカンボジアで花開く

3月7日、かねてより建設中だった小学校の校舎が完成し、贈呈式が行われた。

完成したのはソリヤ小学校(コンボンズプー県オラール郡・生徒数1100人)。校舎は3教室、2人用トイレも併設した。

校舎の完成に合わせて、校庭と小学校に通じる道路も整備された。

地元からは、シアン・ブン・レアン内務省大臣ご夫妻を始め、村民・生徒ら約400人が出席した。

式に出席した土橋傑さんは、織田睦子さんの遺影を講壇に置き、カンボジア語であいさつした。

生徒たちには、ふれあいの旅参加者から学用品を配布した。



織田睦子さんの写真を抱いてテープカットに挑む土橋傑さん



新校舎で学ぶ、ソリヤ小学校の生徒達

織田睦子さんは、遺産を子どもたちの教育に使ってほしいとの遺言を残して他界した。これまでも校舎建設をはじめ沢山支援してくれ、感謝と哀悼の祈りを捧げたい。私たちは自分の意志に関わらずこの世に生を受け、自分の意志に関わらずこの世から消える。その間長くて100年、平均80年余り。

考えたらむなし存在ではある。人が死ぬと一年忌、三年忌、七年忌を迎え、いつしか人の記憶から消えていく。

しかし織田さんのネームが刻まれた校舎は、カンボジアの子どもたちが大人になっても、その功績は心の中で行き続けることだろう。人生は長短より中身だ。



小学校を訪問した「国際ソロプチミスト安城」の皆さん



図書館の屋根の設置されたソーラーパネル

一行は2泊4日の短い旅だったが、アンコールワット観光を楽しみ、帰国の途に着了。

一行は2泊4日の短い旅だったが、アンコールワット観光を楽しみ、帰国の途に着了。

3月5日、「国際ソロプチミスト安城」(愛知県安城市、大徳令子会長)の一行(7名)がトロバントム石川小

学校(コンボンチャム県・生徒数140人)を訪問、校内の図書館にソーラー・システムを寄贈した。ほかに、図書・学用品・サッカーボール・お菓子セットなどを持参、生徒たちに差し上げた。同会は3月に発足20周年を迎えたため、その記念事業として、石川桂副理事長を通して小学校に要望を聞いた結果、ソーラー・システムを寄贈するに至った。

一行は2泊4日の短い旅だったが、アンコールワット観光を楽しみ、帰国の途に着了。

「国際ソロプチミスト安城」からソーラー・システムが贈られる

2月9日、根岸理事長が東京・赤坂の「カンボジア王国大使館」を訪れ、昨年赴任したチア・キムタ特命全権大使を表敬訪問した。

たまたま7年前まで大使をしていたプー・ソテリアツ氏が来日、根岸理事長と親交の深い氏が仲介する形で表敬訪問が実現した。

大使は、これからも本会と連携し、カンボジアと日本の親善交流を推進していくことを申し合わせた。

大使館などが主催するカンボジアフェスタ(5月7日〜8日)に本会も出展するため、当日会場にてお会いすることを約束した。

右からチア・キムタ大使、根岸理事長、プー・ソテリアツ氏

チア・キムタ特命全権大使を表敬訪問

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば70年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

- 【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。
- 【会費の用途】: 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の減価償却費など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。
- 【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)
- 【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

カンボジアの小学校に 7基の井戸が完成

3月4日、15日、7基の井戸をコンポンチュナン県等の小学校に寄贈、その贈呈式を行った。

4日には、第32回「カンボジアふれあいの旅」に参加した皆さんが、岩手県・奥州市民の皆さんからの寄付金により完成した井戸の贈呈式に参加し、井戸の完成を祝った。

最近の円安により、井戸建設代金は約19万円に値上がりしたが、それでも多くの皆さんがカンボジアの事情を理解してくれ、感謝の一言だ。



奥州市民有志が贈呈した井戸と生徒たち

3月に完成した井戸の内訳 ※通算の井戸設置数(2003年～)=282基(3月現在)

ネームプレート名	学校名	生徒数	所在地(県名)
① 奥州市民有志：友情の水	ワトモンコルカン小学校	156人	コンボンチュナン県
② 平和・かそけい F 川崎 2号基	トゥールクボス小学校	305人	コンボンチュナン県
③ 根谷崎百合子様	トナツルケン小学校	312人	コンボンチュナン県
④ 長崎県 武藤和義・康代 卒業記念 長崎大学医学部 武藤裕子 2016.3.25	クロサンドスルン小学校	148人	コンボンチュナン県
⑤ 松原睦美様	プレーインテープ小学校	375人	コンボンチュナン県
⑥ 松原睦美様	オン小学校	304人 30人	コンボンチュナン県 カンボット
⑦ 鈴木 見様	デチョーアンカイン小学校		

宮川公子さんが 音楽指導

2月21日、3月2日、宮川公子さん(宮城県石巻市、里親会員)がカンボジアを訪問、2つの小学校で鍵盤ハーモニカの奏法指導と合唱指導を実施した。又滞在した夢ホームでは、音楽に加え裁縫を指導した。

宮川さんは今後も年2、3回の予定でカンボジアを訪れ、指導を継続することになっている。



鍵盤ハーモニカを練習する生徒たち

上山陽子さんが 音楽と遊戯指導

2月23日、3月10日、上山陽子さん(奈良県大淀町、法人監事、里親会員)がカンボジアを訪問、小学校で鍵盤ハーモニカによる音楽指導を、幼稚園で遊戯指導を行った。

上山さんはその後、第32回「カンボジアふれあいの旅」に合流して活動した。



幼稚園で遊戯指導する上山陽子さん

トントロラッチにいがた小学校に トイレ棟が完成

トントロラッチにいがた小学校(コンボンチュナム県・生徒数200人)にトイレ棟が完成した。3月16日、贈呈式を行い、根岸理事長が出席した。

贈ったのは、「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区、石川幸夫代表)。1月に同校を訪問した石川代表は、同校にトイレがなく、隣の中学校のトイレを借りていると聞き、贈ることを決めた。



完成したトイレ棟の前で

「優志」の皆さんがトイレ棟を寄贈

3月1日、15日、國學院大學国際協力サークル「優志」(本校=東京都渋谷区)の一行(6人)がカンボジアを訪問、エミ小学校(コンボンチュナム県オラール郡)にトイレ棟(2人用)を寄贈した。7日、その贈呈式が行われた。

エミ小学校にはトイレがあったが、壊れて使えなくなっていた。

優志の皆さんは、独自の活動としてエミ小学校やソリヤ小学校で衛生指導などを実施した。



トイレ棟前でエミ小学校の生徒たちと

デチョーアンカイン 小学校の建設進む

鈴木千雄さん(愛知県あま市、里親会員)の協力により、3月に建設を開始した「デチョーアンカイン小学校」の新校舎はほぼ70%終了、7月の完成を目指し工事が進んでいる。

6月頃から雨季が始まると、現場への行き来が困難になるため、乾季の間に工事を終了させる計画。



7月の完成を目指して

プー元カンボジア王国大使を表敬訪問

3月16日、駐日カンボジア王国特命全権大使を5年間務めたプー・ソテリアッ氏(現在はプノンペン市に在住)の自宅を根岸理事長ら関係者が訪問、会食の時を持った。2月、日本で根岸理事長がプー氏に再会したのを機に、訪問が実現した。

氏は、大使退任後も様々な活動を通じて、日本とカンボジアの友好親善に尽力している。



プー・ソテリアッ氏の自宅で

ぬいぐるみを プレゼント

第32回「カンボジアふれあいの旅」に参加した及川英博さん(岩手県奥州市、理事、里親会員)を始め、大星スズ子さん(奥州市、里親会員)、加藤知恵子さん(埼玉県戸田市、里親会員)から贈られたぬいぐるみを、村の子どもたちにプレゼントした。

ぬいぐるみをもった子どもたちは、我が子のようにいつまでも抱きしめていた。



ぬいぐるみを抱く村の子どもたち

第25回鑄造によるアクセサリ作り技術講習会《夢ホーム》

榎戸徹彦さん(横浜市、理事・里親会員)は、ほぼ隔月に1度のペースで、夢ホームや村の子どもたちを対象に、アクセサリ作りの技術講習会を開催している。

第25回目の講習会を2月16日、19日、「夢ホーム」で開催した。

今回から、夢ホームの2人の子どもが加わった。また、日本から田中千鶴さん(個人会員)がお手伝いに来てくれた。

今回の講習会を、4月26日、29日に予定している。



講習会の様子

第32回「カンボジアふれあいの旅」

3月3日、9日、第32回「カンボジアふれあいの旅」が行われ、本会会員ら13人が参加した。

一行は3日、ベトナム航空便でホーチミンからプノンペン入りした。

4日は、岩手県奥州市民有志の寄贈による井戸の贈呈式に出席、又一部の参加者は、小学校の校舎を視察した。

5日は、教育支援する里子の家を訪問した。5人の里親さんが参加した。

6日は、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪問、子どもたちと交流した。子どもたちの成長ぶりに一同驚いていた。

7日は、1面で掲載の「ソリヤ小学校」贈呈式に出席した。

8日は、プノンペン市内観光後帰国の途に着いたが、半数は延泊し、現地で解散となった。

次回第33回の旅は7月6日、12日を予定。



夢ホームの子どもたちと

クメール教育里親基金活動レポート

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親を失い、かつ貧しい家庭にいる子どもたちが安心して学ぶことができるように、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約380人の子どもたちを教育支援している。

3月3日、23日の滞在中、第32回「カンボジアふれあいの旅」では5人の教育里親さんが支援する里子の家を訪問、プレゼントを渡し交流した。

また延泊滞在中、20人の里子に、教育里親さんからあずかったプレゼントを届けた。

(根岸恒次・法人理事長)



里子を訪問した木村恵美子さん(大阪市・里親会員)

銀行員になりたいです「マッカーラー」

日本の里親さん、私はマッカーラーといっています。大学4年生、22歳です。

小学校4年生のときから高等学校を卒業するまで、教育支援を受けました。父親が離婚して家を出してしまい、母親の収入と教育基金で生活しました。

今私は、新聞配達のアルバイトしながら、プノンペン市内の小さな大学で勉強しています。銀行員になるのが夢です。

里親さんは、一度カンボジアまで来てくれましたが、里親さんからの支援がなかったら、大学にも行けなかったでしょう。本当に感謝しています。



「夢は銀行員」と語るマッカーラー君

夢ホームで健康教育指導

2月28日、3月1日、今岡洋子さん(愛知県立大学看護学部3年)が夢ホームに滞在、紙芝居を用いて健康に関する教育指導をしてくれた。子どもたちは、手洗いや歯磨きの大切さを理解することができた。

今岡さんは3日間の滞在中、子どもたちとサッカーをしたり絵を書いたりして、楽しんだ。



夢ホームの子どもたちと

児童養護施設夢ホーム日記

カンボジアのコンポンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園した。

現在10歳～19歳の10人の子どもたちが暮らし、近隣の小・中・高校に通っている。

お正月前の日帰り旅行

カンボジアのお正月は4月、子どもたちは約2週間実家へ戻るが、この機会に例年日帰り旅行を実施している。今年は3月27日、まだ海を見たことがない子どもたちのため、レンタカーを借りて海のあるシアヌークビルへ。楽しい1日だった。



初めて海を見ました

2月～3月も沢山の日本人が訪問

2月～3月にかけて、多くの皆さんが夢ホームを訪問してくれた。(順不同)

・第32回カンボジアふれあいの旅参加者(14人)・宮川公子さん・上山陽子監事(お孫さんと)・今岡洋子さん(お母様と)・榎戸徹彦理事・田中千鶴さん

石川副理事長が地元で講演

石川桂副理事長(愛知県安城市、里親会員)が地元の公民館と小学校で講演した。

2月8日、「安城市立池浦公民館」で中学生など(62名)を対象に「カンボジアでのボランティア活動」について講演、2月29日には、安城市立文山小学校6年生(30人)を対象に、同じテーマで講演した。生徒たちは初めてカンボジアのお話を聞き、興味をもったようだ。



ボランティア活動について講演

及川理事が地元で講演

及川英博理事(岩手県奥州市、里親会員)が地元の2団体から依頼を受け、カンボジアにおける支援活動等について講演した。

2月24日、「前沢ロータリークラブ」の招きで「カンボジアでの教育支援活動」について講演(ロータリー会員23名)、2月27日には、「前沢ユネスコ協会」の招きで「カンボジアの教育事情」について講演(ユネスコ会員ら43名)した。ビデオ上映や会報などの資料を配布、広報活動に十分効果があつた。



カンボジアの教育事情について講演

ウオッチカンボジア

100歳の僧侶に会う

カンボジア人の平均寿命は70歳台と聞いているが、4月に100歳になった僧侶がいると聞き、インタビューした。明確な統計はないが、カンボジアでは最高齢者の一人と思われる。

プノンペン市内、ウナロム寺院に住むソンキア・ポーターティさん、プリー・ソテリアアツ元駐日カンボジア大使の父親である。

カンダール出身、10人の子どもを育てた。ポルポト時代は渡米して、難を逃れた。38年前、僧侶になったそうだ。

健康の秘訣は、怒らないことと瞑想すること。ご飯は朝食と昼食のみ、夕食は摂らない。健康のためビタミン剤を毎日飲んでいて、頭脳明晰で、帰り際にも読経して帰った。



イスラム教徒の小学生

学校を訪問していたら、イスラム教徒の小学生が貝を売っていた。カップ一杯で500リエル(12円)、小遣い稼ぎとのこと。



初めて見た貨物列車

国道4号線を車で走っていたら、プノンペン⇄シアヌークビル間の線路を通る貨物列車に出会った。数年前、諸外国の援助で線路のみが完成していた。



第14回定期総会を開催

2月27日、恒例の第14回定期総会を練馬区立「練馬文化センター会議室」で開催、16人の会員さんが集った。

昨年度事業報告と決算、今年度事業計画と収支予算、役員改選、定款変更などを審議、すべて承認された。

議事終了後の懇談会では、カンボジア語講座の講師を担当するノップ・ヴィサルさん、最近のカンボジア事



定期総会に集った会員さんたち

清瀬市で写真展を開催

2月15日、21日、「清瀬クレアギャラリー」(東京都清瀬市)で写真展「カンボジアの子どもたち」を開催、多くの清瀬市民が鑑賞した。

無人の写真展だったが、会場においた会報がすべてなくなり、PR効果が高かった。



写真展会場の様子

イベントのお知らせ

カンボジアフェスティバル2016

■ 開催日時5月7日(土)、8日(日)
各日10時00分～19時00分

■ 開催場所=代々木公園けやき並木 (東京都渋谷区神南2-1)
飲食店、物販、カンボジア語講座、伝統舞踊、ファッションショーなど。
本会のブースもあります。

当会出店 入場料無料

※物販、チラシ配布などのボランティアさんを募集中!※

写真展&活動報告会「アジアの子どもたち」

■ 開催日時:6月13日(月)・14日(火)・15日(水)
13日…午後1時～午後7時
14日…午前10時～午後7時
15日…午前10時～午後4時

■ 参加4団体による活動報告会…13日、午後1時～3時

■ 開催会場:かながわ県民センター1階・展示場
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
カンボジア、インド、中国(雲南省)、スリランカの子どもたちの
写真を展示

当会出展 入場料無料

詳しくは本会事務局へお問い合わせください ☎03-3991-2854

初心者向け集中講座

カンボジア語を学んでみませんか

「21世紀のカンボジアを支援する会」では、カンボジアへの支援活動に加え、カンボジアの人たちとの交流活動も行っています。そこでネックとなるのが言葉の問題です。通訳を介さずに直接お話できれば、さらに交流が深まることでしょう。簡単な会話ができれば、子どもたちと話すこともできます。

そこで、遠方の会員さんのため、2日間の集中講座を企画しました。もちろん東京近郊からの参加も歓迎いたします。皆さんふるってご参加ください。

講座日程

日時:2016年6月18日(土)～19日(日)
両日とも、午前10時～午後5時
(12時～午後1時=休憩1時間)

会場:21世紀のカンボジアを支援する会「銀座サロン」
中央区銀座3-11-2 ダイセンビル1F

講師:ノップ・ヴィサールさん(カンボジア人留学生)
明治大学国際日本学部在籍

費用:2日間で10,000円
別途教材費2,700円+消費税

募集定員:10名
※定員になり次第締め切らせていただきます
申し込み:電話、FAX、メールで本会事務局まで申し込み
ください。

会場案内



見事なハス畑

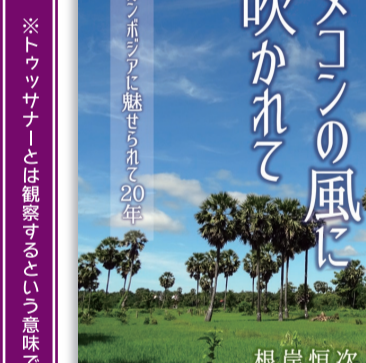
カンボジアは自然いっぱいなのになぜか大きな花畑がない。ブンペンからそう遠くない所に、カンボジアならではのハスの花畑があった。とても広く、甲子園球場の100倍以上。
ハスはカンボジア人にとって大切な植物だ。実や茎、蓮根は食用として、葉は飯や料理を包むために、花は仏様に捧げるために使う。
(中野勝・兵庫県宝塚市、理事)



見事なハス畑

トウツサナー・カンボジア

※トウツサナーとは観察するという意味です



メコンの風に吹かれて
根岸恒次

お悔やみ申し上げます

里親会員の林希樹様(横浜市都筑区)が2月5日、病氣のため逝去されました。享年86歳でした。林さんは2008年入会、2010年より里親会員として子どもたちの教育支援をしてくださいました。ご冥福をお祈り申し上げます。

活動に参加しませんか

ボランティアとして
学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年3回実施しています。

クメール教育里親基金
農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる教育里親会員を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割可)です。

会員として
・個人会員(年額1口5千円)
・法人会員(年額1口1万円)
・教育里親会員(年額里子1人につき3万円)

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいませう、よろしくお願致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

新緑の季節になりました。上記ご案内のとおり、5月7日(土)・8日(日)、東京・代々木公園(けやき並木)で開催される「カンボジアフェスティバル2016」に初参加いたします。ボランティアさん募集中です。
■ 第1回カンボジア語講座は4月に終了いたしました。第2弾として、上記ご案内のとおり集中講座を開催いたしますので、奮ってご参加ください。
■ なお、第3回は8月10日に予定しております。詳細は次回にてご案内いたします。

5月～6月の予定

- 会報「アンコールワット」5月1日付第88号発行
- 「カンボジアフェスティバル2016」に出展(5月7日～8日、代々木公園)
- 写真展&活動報告会(6月13日～15日、かながわ県民センター)
- 活動報告会(6月13日、午後1時～3時)
- カンボジア語集中講座(6月18日～19日、銀座サロン)

真珠のように輝く子どもたちの瞳に出会ってみませんか?

「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・小学校トイレ棟の贈呈式、学用品配布など

第33回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子どもたちとの交流をはかることができます。
特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが皆様をお待ちしております。あわせて学用品配布や小学校トイレ棟、井戸の贈呈式に参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。
旅行代金も格安に設定しましたので、お気軽にご参加ください。
また、募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、会員以外の方は、事前に会員登録(年間一口5,000円)が必要になります。

【旅行期間】2016年7月6日(水)～7月12日(火)(5泊7日)
【募集定員】最少催行人員10名様(定員=20名)
先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。
【滞在ホテル】ミトホテル(ブンペン)5泊
【利用空港】成田空港、関西空港、その他
【旅行日程】6日=成田空港・関西空港などから乗り継ぎにてカンボジアのブンペン国際空港へ
7日=小学校を訪問、井戸の贈呈式に出席
8日=小学校を訪問、トイレ棟の贈呈式に出席
9日=教育支援する里子の家を訪ね
10日=夢ホームを訪問・交流、マーケットで買い物
11日=ブンペン市内観光、午後5時頃ホテルチェックアウト→ブンペン国際空港から帰国の途へ(空港にての現地解散になります)
12日=午前、成田空港、関西空港などに到着
【旅行代金】13万円前後。*現地までの航空券代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。*1人部屋希望者追加料金5泊10,000円。*海外旅行保険は各自でおかけください。*カンボジア入国ビザを取得するため、現地空港で30ドルがかかります。
【締切日】2016年5月20日(金)



夢ホームを訪問します 里子の家を訪ねます

お問い合わせ・申し込み
旅行企画☆特定非営利活動法人 21世紀のカンボジアを支援する会 〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203 TEL:03-3991-2854 E-mail:info@aac21.net FAX:03-3557-1213 http://www.aac21.net